



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 サイボー株式会社
 コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 飯塚 剛司
 (氏名) 藤井 孝男
 TEL 048-267-5151
 配当支払開始予定日 平成29年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,271	0.6	320	△34.3	342	△37.7	179	△71.5
29年3月期第2四半期	4,246	2.8	487	△12.6	549	△17.5	630	51.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 260百万円 (△63.1%) 29年3月期第2四半期 705百万円 (203.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	13.57	13.56
29年3月期第2四半期	47.42	47.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,650	16,698	53.7
29年3月期	28,067	16,539	52.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 14,861百万円 29年3月期 14,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—	7.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,572	3.3	△16	—	136	△86.2	53	△93.6	4.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	14,000,000 株	29年3月期	14,000,000 株
30年3月期2Q	761,191 株	29年3月期	765,141 株
30年3月期2Q	13,236,757 株	29年3月期2Q	13,291,675 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用環境が改善し緩やかな回復基調がみられるものの、米国新政権の政策動向による不確実性や地政学的リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では就労人口の増加等によりユニフォーム業界の堅調な商いに支えられたものの、百貨店を中心とした衣料品の伸び悩みは依然として続いており、厳しい状況で推移しました。一方、不動産活用事業は、二つの大型商業施設が安定した集客力を維持しており、また病院施設の賃貸収入と合わせて営業収益の安定化を図っております。

この結果、当社グループの売上高は42億71百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は3億20百万円（前年同期比34.3%減）、経常利益は3億42百万円（前年同期比37.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益が減少したことにより1億79百万円（前年同期比71.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント別の売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部は、レーヨン糸及びアクリル紡績糸を中心に産地の需要が増加し、輸入原糸販売は好調に推移しました。また、ポリエステル生地の販売は、輸出向けを中心に需要が拡大し増収増益となりました。

アパレル部は、ユニフォーム業界に景気回復がみられる中、法人ユニフォームの直需と百貨店の受注は引き続き堅調に推移したものの、スポーツ関連商品は好調だった前期程の受注が得られなかったことから減収となりました。一方で経費の節減に努め増益となりました。

カジュアル部は、新たにキャンプ関連商品及びOEM商品の販売を開始したことから増収となり、営業損失が縮小しました。

刺繍レースを扱うフロリア㈱は、ノベルティ商品の売上は堅調に推移したものの、主力の服地レースと付属レースの売上が低迷し減収減益となりました。

この結果、繊維事業の売上高は24億54百万円（前年同期比6.7%増）となり、営業損失は3百万円増加して47百万円となりました。

② 不動産活用事業

「イオンモール川口前川」は、近隣の大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価され、「イオンモール川口」は開設から33年経つものの近隣住民の方が固定客として定着しており、二つの大型商業施設と病院施設を主とする不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。「イオンモール川口」の賃貸借契約が平成30年9月30日をもって終了し、賃貸借契約終了後に当該物件の跡地を含む周辺一帯の再開発を予定しております。利益面は、当該物件の残存耐用年数を17年から13ヵ月に見直し、結果、減価償却費を営業費用に追加計上したこと等により減益となりました。なお、再開発についてはイオンモール㈱と共同で新たな商業施設としての検討を進めております。

この結果、不動産活用事業の売上高は13億43百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は3億26百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、天候に恵まれて入場者が伸びたことや、ゴルフメーカーのイベント開催に伴う打席のレンタルにより増収増益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は4億75百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は44百万円（前年同期比38.5%増）となりました。

④ その他の事業

ギフト事業部ディアグリーン課の緑化事業は、観葉植物の新規レンタル契約獲得と慶弔用の花卉ギフト販売に注力し増収となりましたが、販売経費が増加して減益となりました。

神根サイボー㈱のインテリア施工事業は、当社が賃貸する大型商業施設の改装工事や、ゴルフ練習場の設備更新工事等を行い、増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は4億38百万円（前年同期比35.1%増）、営業利益は28百万円（前年同期比354.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、当社グループの不動産の更新工事に伴う増加があったものの、大型商業施設である「イオンモール川口」の賃貸借契約が終了することとなり、加速償却を行った影響や、減価償却が進んだこと等により前連結会計年度末に比べ4億17百万円減少して276億50百万円となりました。

負債は、長期借入金の返済や未払法人税等の納税等により前連結会計年度末に比べ5億77百万円減少して109億51百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末の配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べ1億59百万円増加して166億98百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ4億70百万円減少して25億66百万円となりました。

営業活動により得られた資金は前第2四半期連結累計期間に比べ4億98百万円減少して2億70百万円となりました。これは主にたな卸資産が増加したこと、税金等調整前四半期純利益の減少やその他に含まれる未払消費税等の減少等によるものであります。

投資活動により支出した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ7億5百万円増加して3億37百万円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出が増加したことや投資有価証券の売却による収入が減少したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ2億37百万円増加して4億3百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出が減少したものの、長期借入れによる収入がなかったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年10月13日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,282,611	2,813,772
受取手形及び売掛金	1,049,093	1,010,249
有価証券	208,434	100,125
商品及び製品	1,091,428	1,273,132
仕掛品	12,007	12,835
原材料及び貯蔵品	31,824	29,115
その他	395,205	289,340
貸倒引当金	△760	△687
流動資産合計	6,069,845	5,527,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,292,647	10,132,872
土地	6,731,220	6,810,079
その他(純額)	170,344	239,060
有形固定資産合計	17,194,211	17,182,012
無形固定資産	12,455	12,205
投資その他の資産		
投資有価証券	4,401,517	4,586,610
その他	390,149	343,123
貸倒引当金	△529	△1,582
投資その他の資産合計	4,791,136	4,928,151
固定資産合計	21,997,804	22,122,369
資産合計	28,067,649	27,650,253

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567,296	674,701
短期借入金	50,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	544,408	428,958
未払法人税等	237,241	127,801
賞与引当金	59,681	58,731
役員賞与引当金	5,720	2,860
その他	1,273,370	973,194
流動負債合計	2,737,718	2,336,246
固定負債		
長期借入金	1,394,621	1,241,184
役員退職慰労引当金	229,442	236,706
退職給付に係る負債	158,200	153,861
長期預り保証金	6,578,920	6,531,241
その他	429,718	452,279
固定負債合計	8,790,903	8,615,272
負債合計	11,528,621	10,951,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	871,122	871,365
利益剰余金	12,282,917	12,371,289
自己株式	△457,647	△455,878
株主資本合計	14,098,392	14,188,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	683,629	707,584
繰延ヘッジ損益	△1,307	△314
退職給付に係る調整累計額	△36,283	△34,292
その他の包括利益累計額合計	646,039	672,978
新株予約権	15,058	6,459
非支配株主持分	1,779,537	1,830,519
純資産合計	16,539,027	16,698,733
負債純資産合計	28,067,649	27,650,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,246,103	4,271,461
売上原価	2,966,504	3,161,875
売上総利益	1,279,598	1,109,585
販売費及び一般管理費	791,945	789,333
営業利益	487,652	320,252
営業外収益		
受取利息	4,746	6,194
受取配当金	53,902	45,871
持分法による投資利益	21,098	-
その他	25,519	25,532
営業外収益合計	105,265	77,598
営業外費用		
支払利息	30,297	23,344
固定資産除却損	4,230	11,546
持分法による投資損失	-	11,078
その他	8,828	9,245
営業外費用合計	43,355	55,215
経常利益	549,562	342,635
特別利益		
投資有価証券売却益	418,032	-
新株予約権戻入益	9,604	8,972
特別利益合計	427,636	8,972
特別損失		
固定資産売却損	3,633	-
投資有価証券評価損	22,325	-
関係会社株式評価損	-	25,000
特別損失合計	25,958	25,000
税金等調整前四半期純利益	951,240	326,607
法人税、住民税及び事業税	274,694	122,608
法人税等調整額	△9,883	△32,275
法人税等合計	264,810	90,332
四半期純利益	686,430	236,274
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,101	56,693
親会社株主に帰属する四半期純利益	630,328	179,580

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	686,430	236,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,080	16,411
繰延ヘッジ損益	2,332	992
持分法適用会社に対する持分相当額	304	6,554
その他の包括利益合計	18,717	23,959
四半期包括利益	705,148	260,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	651,146	206,519
非支配株主に係る四半期包括利益	54,001	53,713

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	951,240	326,607
減価償却費	354,466	468,107
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45	980
賞与引当金の増減額(△は減少)	207	△950
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,960	△2,860
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,435	△4,338
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,512	7,264
受取利息及び受取配当金	△58,648	△52,066
支払利息	30,297	23,344
持分法による投資損益(△は益)	△21,098	11,078
投資有価証券売却損益(△は益)	△418,032	—
投資有価証券評価損益(△は益)	22,325	—
関係会社株式評価損	—	25,000
売上債権の増減額(△は増加)	△25,918	38,843
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67,637	△179,822
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,243	107,405
預り保証金の増減額(△は減少)	△41,139	△47,679
その他	186,692	△260,033
小計	894,429	460,881
利息及び配当金の受取額	60,423	53,730
利息の支払額	△29,952	△23,000
法人税等の支払額	△155,895	△221,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	769,006	270,170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	30,000	164,083
有形固定資産の取得による支出	△231,871	△357,693
有形固定資産の売却による収入	11,159	—
投資有価証券の取得による支出	△76,929	△293,646
投資有価証券の売却による収入	578,032	30,001
定期預金の増減額(△は増加)	△7,511	△2,104
貸付けによる支出	△13,330	—
貸付金の回収による収入	420	3,070
その他	78,700	119,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	368,669	△337,228
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	440,000	340,000
短期借入金の返済による支出	△720,000	△320,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△231,304	△268,887
配当金の支払額	△91,131	△91,208
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
その他	△61,621	△61,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,789	△403,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,657	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	969,229	△470,943
現金及び現金同等物の期首残高	2,486,907	3,037,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,456,136	2,566,494

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第2四半期連結会計期間において、イオンモール(株)からの申し出により、当社が賃貸しております「イオンモール川口」(埼玉県川口市)の賃貸借契約を平成30年9月30日をもって終了することとなりました。なお、賃貸借契約終了後に当該物件の跡地を含む周辺一帯の再開発を予定しております。この結果、当該物件の残存耐用年数を17年から13ヵ月に見直しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上原価に含まれる減価償却費が124,301千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,295,677	1,204,901	446,590	3,947,169	298,933	4,246,103	—	4,246,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	135,164	—	139,364	25,648	165,012	△165,012	—
計	2,299,877	1,340,065	446,590	4,086,534	324,581	4,411,116	△165,012	4,246,103
セグメント利益 又は損失(△)	△43,993	492,317	32,143	480,467	6,328	486,795	857	487,652

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,450,010	1,208,801	475,624	4,134,437	137,024	4,271,461	—	4,271,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,383	135,164	—	139,547	301,616	441,163	△441,163	—
計	2,454,393	1,343,966	475,624	4,273,984	438,640	4,712,625	△441,163	4,271,461
セグメント利益 又は損失(△)	△47,393	326,887	44,519	324,013	28,778	352,792	△32,539	320,252

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更に記載のとおり、当第2四半期連結会計期間において、イオンモール(株)からの申し出により、当社が賃貸しております「イオンモール川口」(埼玉県川口市)の賃貸借契約を平成30年9月30日をもって終了することとなりました。なお、賃貸借契約終了後に当該物件の跡地を含む周辺一帯の再開発を予定しております。この結果、当該物件の残存耐用年数を17年から13ヵ月に見直しております。

この変更により、従来の方針に比べて、当第2四半期連結累計期間の「不動産活用事業」のセグメント利益が124,301千円減少しております。